

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム萌	評価実施年月日	平成20年5月28日
評価実施構成員氏名	佐藤 村角 浜下 野宮 山形 庄司 秋山		
記録者氏名	佐藤	記録年月日	平成20年6月5日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	(株) 萌福祉サービス経営理念、介護理念、GH萌年間目標があります。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	ホーム内に経営理念、介護理念、年間目標を掲示。朝の引き継ぎ時、唱和しています。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	ホームの居間に掲示し、見学や契約の折りに説明しています。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	隣近所の方とは笑顔で挨拶をかわしたり、日常的な付き合いができています。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域への関わりは行事等で行われています。町内と合同盆踊り大会やどんと祭の踊りや出店PR、それぞれの準備、運営、後片付け、かもめ幼稚園交流会、外食ツアーなど実施しています。	
6	事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	入居者様の友人が訪問できるよう働きかけています。裏隣の独居障害者の方への挨拶がてら、安否確認、声掛けをしています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>職員一人一人が利用者の意見や不満を聞き、その方にとって最良と思える環境を整えられるようにしています。</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月御家族宛にお手紙を発行し、近況を具体的に伝えていきます。また、家萌里新聞を毎月発行し、出納明細も毎月報告しています。居間には行事の写真を掲示しています。</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時の近況報告、定期的なお手紙や電話報告、行事のお誘いをしており、話しやすい雰囲気作りを心がけています。</p>		
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングは定期的に行っており、職員の意見や提案を取り入れ、運営に反映しています。毎日本社に向向いているので、必ず上長者に会い挨拶や毎日の報告、パソコンでの企画、意見書の判定など必ず回答があります。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>早番、日勤、遅番、夜勤と一日の流れに合わせて勤務を組んでいます。また、必要に応じて勤務調整が可能です。(病气、冠婚葬祭、家族の病气、旅行や他事業所の応援などで調整しました。)</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>上長者より当事業所管理者、職員への働きかけ、協力があり、支援体制が整っており、当社内の移動はありますが当事業所からの離職は発生しておりません。18歳～50代の社員信頼関係が充実しており、連携がとれております。新入社員にはプリセプター方式を取り、丁寧に指導、他職員もそれぞれの能力を発揮出来るよう協力、連携しています。新人は一人立ち勤務が出来るまで毎勤務後、研修記録記入、担当が評価をしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>GH内プリセプター制を導入して指導しており、スタッフ一同でトレーニングを応援しています。会社の年間研修、新人研修、地域研修会その他、ミーティング時の勉強会を行っています。日々わからないことはそのままにせず、学習しています。パソコン内で他事業所の取り組みが、ただちに確認できます。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>社内においてはGH運営向上委員会を通じて、他のGHとの交流を持ち、サービスの質の向上について学習しています。市内のGHとは、月1回の意見交換会に参加しています。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員相互の親睦、悩みの聴取、解消されています。勤務割作成時にはそれぞれの希望を取り入れています。当社ソフトボールクラブ入団や応援など、スポーツ交流もあります。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>運営者はよく声を掛けており、企画書や稟議書の検討、決裁、勤務調整の協力、研修の声かけ、など協力体制ができています。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>相談うけ事前情報を面談聴取し、十分に検討されています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ケアマネージャーや御家族から相談を受け、当事業所が入居できる体制を整えられるか十分に検討しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者、家族が必要としている支援ができるよう努めています。入居診断シート、相談シートを用い、入居時のケアプラン作成、判定会議を開催し決裁しています。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人が安心して生活できるよう家族と相談しながら、職員が雰囲気作りをし徐々になじみの人間関係が築けるよう働きかけています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	共同生活の場として役割の継続や掃除・洗濯・調理片付け・テレビ調整・食前挨拶などの協力、参加により利用者と共に支え合う関係が築けています。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	毎月利用者様より、ぬり絵葉書きを御家族に送っています。お返事の手紙、葉書、電話があります。面会の際にも会話が弾みます。御家族より掃除に使ってくださいと、手作りの雑巾をいただいたこともあります。お手紙や電話で近況や状態報告を行い、情報を共有し行事への参加協力や、面会への働きかけをしています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	定期的な面会や、行事に積極的に参加して頂けるようお誘いし、よりよい関係を築けるよう支援しています。遠方の方には電話での交流を図っています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	一人一人がなじみの人や場所との関係が途切れないよう配慮しています。入居者が以前勤めていた商店へ散歩、面談や友人の訪問歓迎、行事同行鯉番屋見学、地域公園、海へのドライブ、個別外食ツアー、地域スーパーへの買い物など計画、実行の経過があります。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の関係を把握し、孤立しないように職員が会話で誘導、調整したり日課への参加、レクリエーションなどで関わり合いを持って頂けるようにしています。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	家族から来訪して頂いたり、こちらから連絡するなどの配慮をしています。入院された方への面会、退居された御家族が古新聞を持参して下さるなど交流が続いています。他事業所に入居された方への面会、電話情報交換なども行っています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族と情報交換、利用者様の意志を聴き把握しています。困難な場合は本人本位に検討し、本人の尊厳を守る配慮をしています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面接時、本人の生活歴や生活環境を聴き、把握しています。また、御家族で協力して頂ける方はわかることわからないことを表に記入して下さっています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	介護記録、経過観察一覧表、バイタル、排泄、与薬などのチェック表などで把握し、ケアプランに反映し、毎日評価しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	一人一人の担当者を決めて話し合い、課題が明確になるよう書式を使って具体的にしています。また、勉強会を開き学習し、管理者、上長者に内容を見て頂き、指導を受けています。また、当社独自にGH運営向上委員会の評価を受けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的な評価を行い、本人、御家族、必要な関係者と話し合い計画を見直し、それに合った計画を作成しています。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに基づき、実践、結果を介護記録に記入することで毎日評価し、職員同士情報を共有しながら見直しに活かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	入退居や受診時の送迎、ピアノ教師職員による週1～2回の音楽療法、企画による外出の送迎、スタッフの私事都合による急な休暇の助勤、協力応援等を行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	商店、スーパーへの買い物や行事等において、消防・警察・幼稚園・駅・青年会議所・個人ボランティア(そば打ち・フラダンス・日本舞踊)などが支援して下さっています。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	特養への転出、退居自宅療養、病院入院などの調整連絡、経過確認しています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現在対象となる方の入居はありません。必要があれば調整できます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら適切な医療を受けられるように支援している。</p>		
<p>44 認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>市立病院神経科の受診、荻野病院精神科、心療内科受診により医学的指示を頂き、実践しています。また、特変時の連絡も可能です。</p>		
<p>45 看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>当社看護師、また病院看護師との連絡体制も整っています。入院時は介護状況連絡書を発行、病院書式のアナムネーゼ記入、情報経過の報告をしています。</p>		
<p>46 早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院中は状態の確認や面会、御家族との連絡、情報交換、医師看護師との面談を行い退院に向けての連携をしています。</p>		
<p>47 重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>御家族と話し合いののち、ケアマネージャー、かかりつけ医師に相談しケアプランに基づき対応しています。</p>		
<p>48 重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>病院受診時にかかりつけ医に相談し、GHでできることを調整実践し、病院との協力体制を整え支援しています。一時期、摂食できなかった方がゼリー飲料から徐々にランクを上げ、今では常食、一部刻み、トロミ食、水分、トロミで十分栄養補給できるようになっています。あきらめない取り組みを続けています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>御本人、御家族、ケアマネージャから情報収集すると共に、御家族協力のもと、入居前の見学や面談によるGHの説明、外出外泊・家族の宿泊など受け入れて頂けるよう努めています。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>一人一人の尊厳を守るよう配慮しています。</p>		
<p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>本人の言葉や思いを引き出す声掛けをしており、役割や協力の是非について決定してもらっています。また、飲み物の選択や献立の希望、おしゃれ、着衣など伺いながらお手伝いしています。</p>		
<p>52 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ケアプランに基づき一人一人のペースに合わせて対応しています。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>理美容店に行き思い思いの髪型で散髪、整髪しています。化粧や服装の好みのおしゃれを楽しんで頂いています。</p>		
<p>54 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>調理・盛りつけ・配膳・片付け・食前挨拶など、安全に配慮し役割として実感できるよう支援しています。職員も一緒に食事をしながら楽しいひとときを過ごしています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>本人の希望があれば、その時の状況に応じ可能な限り行えるよう努めています。個別的にはジュース・おやつを購入し、管理しています。現在、飲酒・喫煙希望者はいません。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>一人一人に合わせ、自己排泄の見守り・誘導、介助を行い支援しています。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>バイタルチェック、体調を観察、一人一人の希望に合わせて決定しています。入浴日以外の入浴、夜間安眠のための夕方入浴も調整しています。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>日中の活動やレクリエーション・体操・散歩など、メリハリのある日課を心がけています。眠れない方には一時的な読書、家族になり代わっての対応、声掛けで就寝を促す時があります。常に対応できる姿勢で支援しています。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>役割や、楽しみができるよう働きかけ、場面毎に手伝って頂いており、自主的に参加することで楽しんでいらっしゃる方が増えています。御家族の協力により、外出外泊・旅行の働きかけ、またレクリエーション、行事企画、散歩、外食など外出の機会を設けています。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>金銭管理は現状ではできないので御家族よりホームで預かり、管理していますが、個人の買い物時には財布に入れ、支払って頂いています。特にお祭りや外食時とウキウキされています。ドライブ時、御家族にりんごを発送した時もあります。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	個人の希望があれば、その時の状況に応じ可能な限り行えるよう努めています。また、個別に外出できる企画や散歩を働きかけています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	年間行事に一人一人の希望も取り入れ、御家族と一緒に出掛けられるよう計画・実施しています。個別外食ツアー、図書館、買い物、夫への面会などを行っています。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	手紙や電話を利用できるよう配慮、支援しています。毎月ぬり絵葉書きを送り続けています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	御家族や友人の訪問に際し、歓迎し思い思いの場所で面談できるよう雰囲気作りを心がけています。また、行事の誘いをしています。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的な勉強会で知識を学び、身体拘束は行っていません。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	施錠しています。裏口が死角にあり、一人で戻れなくなるので御家族に説明し、了承を得ています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	プライバシーに配慮しながら安全第一に考え、所在や様子を常に把握しています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬・刃物・洗剤の保管場所には施錠しています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	利用者見守り所在の把握、移動・移乗時の見守りや介助、誤嚥・誤飲のない配慮、火災の防火訓練をしています。なお、今年度5月11日は利用者4名を含め、防火訓練をしています。与薬マニュアル、与薬チェック表を活用しています。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急マニュアルがあり、対応が周知されています。消防救急救命講習を毎年受講しています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	火災報知器、消火器、避難灯の設置、消防点検、災害時は緊急連絡網により会社職員の対応体制があります。一時避難は本社へ、また地域の方々の避難に関しては本社や、当事業所サナルーム利用可能です。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	契約時に起こりうるリスクについても話し合っています。御家族と本人が安心して生活できるよう対応策を話し合っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>毎日、煮沸消毒を行っており調理器具は使用後はアルコール消毒を行っています。キッチン周り品は毎晩消毒、食材は毎日発注しています。賞味期限の確認、食品は加熱処理、手洗いの徹底、エプロン装着、生ものは手袋装着に努めています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>御家族が気軽に訪問出来るようプランター設置、雰囲気作りに心がけています。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>静かな環境にあり照明は間接照明、家庭的雰囲気のある環境で季節にあった装飾をし生活感や季節感を出しています。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>思い思いに過ごせるような居場所を提供しています。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居心地良く過ごせるよう本人の思い入れのある物や使い慣れた物を本人、御家族と相談しながら居室に置いています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>不快に感じないよう換気に努め、温度、湿度を一日四回チェックしており、利用者の過ごしやすいように調節しています。天気の良い日には窓を開け、換気しています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人一人ができるだけ自立した生活ができるよう配慮しています。利用者は常に見守り、必要に応じ同行、介助、手すり、浴室、脱衣室、滑り止めマット、安全に配慮した家具を使っています。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>個々のわかる力を把握し不安を感じず、自信を持てるように支援しています。</p>	
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ウッドデッキでは職員見守りのもと、花を育てたり野菜の収穫、日光浴やおやつタイムができるようなスペースを設けています。サンルームでは体操やレクリエーション、行事、食事会の出来る広いスペースがあります。</p>	

. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p>

サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

平成13年9月、留萌管内で初めてのグループホームとしてオープンし6年が過ぎました。一人一人の利用者様を尊重し家庭的な雰囲気のある共同生活の中で“自己実現”を目指し「今がとても幸せ」と生きがいを感じる事が出来る「居心地の良い生活の場」を提供できるようチームアプローチしています。季節や生活を楽しんだり役割に自信をつけ、めりはりのある日課の中でなじみの人間関係の中自分の居場所を感じ社会との関わりを保ちながら生活できるよう支援しています。御家族との連携を保てるよう個別に話し合い対応しています。会社ではグループホームが6事業所あり、GH運営向上委員会を設置しそれぞれを評価、改善、勉強し、高め合うシステムがあります。体調に合わせたどこよりも美味しい食事を提供しております。現在入居されている9名の皆様は、体調が安定し、気持ちも混乱から穏やかさを保ち、活気のある笑顔を取り戻し、共同生活を受容しています。新入社員教育に力を入れ、職員の連携、協力姿勢がとれて働きやすい職場です。